

令和元年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告

<事業概要>

令和元年度は、公益財団法人の認定から8年目となり、これまでの経験を十分に活かしながら事業計画に基づき、各部門とも積極的に事業を推進し、地域住民の公益の増進に貢献しました。

夜間休日救急診療所部門においては、急病患者の初期救急医療を主たる目的とし、宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもとに管理運営をしており、年末年始やインフルエンザ流行期等については患者の状況に応じ、初期救急医療体制を適切に確保し、安全・安心な医療サービスの提供に努めるとともに、「救急医療の適正受診」等についての啓発活動を積極的に実施いたしました。令和元年度 of 患者数については、インフルエンザが前年度ほどの流行拡大がみられなかったことや、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、延べ28,327人、前年度比3,879人の減となり、前年度を大きく下回りました。

健診センター部門においては、疾病の早期発見を図るための各種健康診断の実施など、地域住民の健康維持・増進に向け事業を推進してまいりました。事業所健診の受診件数は、小規模事業所の受診者減に伴い定期健康診断等が減少しましたが、風疹抗体検査の需要が伸びたことから、前年度比1,241件増となりました。宇都宮市から委託を受け実施している住民健診は、新型コロナウイルス感染症の影響等で受診者の足が遠のき、全体では、前年度比439件減となりました。子ども健診については、全体で前年度比480件減となりました。令和元年度の健康診断受診者の総件数については、延べ107,611件、前年度比322件の増となりました。また、健康支援事業では、住民健診において特定保健指導の同日実施に注力し、全体で前年度比542件増となりました。普及・啓発活動では、横断幕やラジオ・新聞等様々な媒体を活用して地域住民の健康意識の向上や各種健診の受診率向上に努めるとともに、事業所健診の検査結果等を基に、受診者の生活改善に役立つ健康教室等を開催し、積極的に健康診断後のフォローに努めました。また、健診業務における医療事故等の防止を図るため、「健診事故防止対策委員会」の組織体制を強化するなど、リスクマネジメントを積極的に推進するとともに、精度管理や個人情報保護の適正管理に努めました。

准看護高等専修学校及び歯科衛生士専門学校部門においては、地域保健医療への貢献が期待される有能な人材を育成するため、教育環境や教育内容などの充実を図るとともに、新年度の入学生を確保するため、進学相談会への参加や学校見学会等を実施しました。また、資格取得の支援及び就業支援に力を入れ、地域医療の担い手として准看護師及び歯科衛生士を地域の医療機関等へ輩出いたしました。

1 夜間休日救急診療所部門

当診療所は、急病患者の応急処置を主たる目的として、夜間や休日等の初期救急医療を確保するため、当事業団が宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと管理運営しております。診療は、毎夜間と日曜祝日の昼間に実施し、特に患者が増加するゴールデンウィーク、旧盆、年末年始の繁忙期やインフルエンザの流行期などについては、前年度までの患者実績に合わせてスタッフを増員配置しました。

令和元年度の診療所実施状況については、昼間診療を 79 日、夜間診療（準夜・深夜）を 366 日実施し、総患者数は前年度比 3,879 人減の延べ 28,327 人となりました。

事業団が開設して 35 年余が経過し、当診療所も老朽化、狭あい化が進み、また、感染症対策やバリアフリー化、プライバシー保護などの対策も必要になってきたことから、宇都宮市保健所が事務局となり、市、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、事業団で構成する理事レベルの会議に本年度も引き続き参画いたしました。

(1) 実施状況

ア 診療日、診療時間、受付時間、開設日数

区分	診療科	診療日	診療時間	受付時間	開設日数
昼間	医科 歯科	日曜、祝日、国民の休日	午前9時～午後5時	午前8時30分～午前11時30分 午後0時30分～午後4時30分	79日
		旧盆(8/11～15)			
		年末年始(12/29～1/3)			
夜間	医科	毎日	午後7時30分～翌朝午前7時	午後7時～翌朝午前6時30分	366日
	歯科	毎日	午後7時30分～午前0時	午後7時～午後11時30分	

イ スタッフ動員数

(単位：人)

区分	医師	歯科 医師	薬剤師	看護師	衛生士	事務員	合計	前年度比較	
								動員数	増減
昼間	261	99	186	394	119	345	1,404	1,306	98
準夜	824	389	470	1,258	412	890	4,243	4,205	38
深夜	732	—	366	732	—	366	2,196	2,190	6
合計	1,817	488	1,022	2,384	531	1,601	7,843	7,701	142
前年度	1,799	471	1,004	2,341	502	1,584	7,701		
増減	18	17	18	43	29	17	142		

ウ 医科患者利用状況

医科における患者数については、例年より休日の日数が多かったゴールデンウィークやインフルエンザの流行期は多かったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、総患者数は前年度比 3,786 人減の 25,617 人となり、前年を大きく下回りました。

インフルエンザは、12 月から流行期に入り、1 月にピークを迎えましたが、前年度ほどの流行拡大がみられなかったことなどから、3 月までに前年度比 1,429 人減の 2,660 人となりました。

①医科月別受診者数

(単位：人)

区 分		H31年	R1年								R2年			合 計	前年度比較	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日 数	増減
															患者数	
昼 間	日数	6	9	5	5	8	7	6	6	7	8	6	6	79	75	4
	患者数	574	1,095	297	414	750	544	384	501	1,652	1,755	610	250	8,826	9,754	△ 928
	1日平均	95.7	121.7	59.4	82.8	93.8	77.7	64.0	83.5	236.0	219.4	101.7	41.7	111.7	130.1	△ 18.4
夜 間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	365	1
	患者数	850	1,148	811	1,065	1,168	916	789	821	1,751	1,613	909	565	12,406	14,617	△ 2,211
	1日平均	28.3	37.0	27.0	34.4	37.7	30.5	25.5	27.4	56.5	52.0	31.3	18.2	33.9	40.0	△ 6.1
	患者数	308	450	323	365	416	341	330	342	556	452	294	208	4,385	5,032	△ 647
	1日平均	10.3	14.5	10.8	11.8	13.4	11.4	10.6	11.4	17.9	14.6	10.1	6.7	12.0	13.8	△ 1.8
	合 計	1,732	2,693	1,431	1,844	2,334	1,801	1,503	1,664	3,959	3,820	1,813	1,023	25,617	29,403	△ 3,786
前年度		2,313	2,263	1,392	2,409	2,481	1,839	1,675	1,607	2,825	6,102	2,782	1,715	29,403		
増 減		△ 581	430	39	△ 565	△ 147	△ 38	△ 172	57	1,134	△ 2,282	△ 969	△ 692	△ 3,786		

②インフルエンザ患者数 (単位：人)

平成30年度	令和元年度	増減
4,089	2,660	△ 1,429

③医科患者転送状況 (単位：人)

区 分	帰宅	転送	合計
患者数	24,912	705	25,617
構成比	97.2%	2.8%	100%
前年度	28,785	618	29,403
増 減	△ 3,873	87	△ 3,786

④転送機関別内訳 (単位：人)

区分	後方2次病院					後方1.5次病院					獨 協	自 治	その他	合 計
	済生会	NHO栃	JCHO	宇記念	NHO宇	済生会	宇記念	柴	宇 東	宇第一				
転送数	367	169	40	56	2	6	3	0	0	1	37	8	16	705
構成比	52.1%	24.0%	5.7%	7.9%	0.3%	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	5.2%	1.1%	2.3%	100%
前年度	294	130	48	82	9	4	0	0	4	1	14	9	23	618
増 減	73	39	△ 8	△ 26	△ 7	2	3	0	△ 4	0	23	△ 1	△ 7	87

エ 歯科患者利用状況

歯科における患者数については、概ね前年度に準じた受診傾向で推移し、前年度比 93 人減の 2,710 人となりました。

①歯科月別受診者数

(単位：人)

区 分		H31年	R1年											合 計	前年度比較	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日数	比較
															患者数	増 減
昼 間	日数	6	9	5	5	8	7	6	6	7	8	6	6	79	75	4
	患者数	103	164	34	33	138	61	45	55	161	156	43	38	1,031	936	95
	1日平均	17.2	18.2	6.8	6.6	17.3	8.7	7.5	9.2	23.0	19.5	7.2	6.3	13.1	12.5	0.6
夜 間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	365	1
	患者数	169	190	107	137	169	129	130	121	170	153	104	100	1,679	1,867	△ 188
	1日平均	5.6	6.1	3.6	4.4	5.5	4.3	4.2	4.0	5.5	4.9	3.6	3.2	4.6	5.1	△ 0.5
合 計		272	354	141	170	307	190	175	176	331	309	147	138	2,710	2,803	△ 93
前年度		199	306	165	180	362	215	192	198	323	319	154	190	2,803		
増 減		73	48	△ 24	△ 10	△ 55	△ 25	△ 17	△ 22	8	△ 10	△ 7	△ 52	△ 93		

②歯科患者転送状況

(単位：人)

③転送機関別内訳 (単位：人)

区 分	帰 宅	転 送	合 計
患者数	2,679	31	2,710
構成比	98.9%	1.1%	100%
前年度	2,786	17	2,803
増 減	△ 107	14	△ 93

区 分	NHO栃木	獨 協	自 治	その他	合 計
転送数	9	19	2	1	31
構成比	29.0%	61.3%	6.5%	3.2%	100%
前年度	5	11	1	0	17
増 減	4	8	1	1	14

(2) 診療体制

地域住民の要望にそった初期救急としての診療体制を充実するため、関係医療機関との連携を図るとともに必要な人員の確保に努めました。

ア 医師の安定確保を目指し、派遣協力医療機関との連携を強化しました。

イ 後方病院及び後方支援病院をはじめ、協力医療機関との連携を深め、円滑な患者の転送に取り組みました。

ウ 患者の受入実績、繁忙状況等を踏まえた上でスタッフの充実を図りました。特にゴールデンウィーク、旧盆及び年末年始の繁忙期や、インフルエンザ流行期における患者増に対して、医師、歯科医師、薬剤師等スタッフを増員し、円滑な診療を行うための診療体制の強化に努めました。

エ 医療サービス向上のため、4月、8月、12月に、看護師、歯科衛生士、事務員を対象に繁忙期の診療体制の確認、緊急時の対応、医療機器の取扱等の研修を実施しました。

また、3月に開催を予定していた薬剤師を対象とした研修は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止となりましたが、円滑な薬局業務を行うため、資料を備え置き情報の共有化を図りました。

オ 受付時間及び休憩時間の周知を図り，従事者の勤務環境を改善し，より安全・安心な一次救急医療を提供できるよう努めました。

(3) 普及・啓発活動

地域住民に対し救急医療の理解と健康に対する知識の普及を図るため，以下の取り組みを実施しました。

ア 親子学級などにおける啓発活動

妊婦やその夫を対象に市保健センターで開催される「ママパパ学級」において，「救急医療の適正受診」についてのチラシの配布や，夜間休日救急診療所の適切な利用の仕方について案内を行いました。

イ メディアを通じた啓発活動

ゴールデンウィーク，旧盆，年末年始における夜間休日救急診療所の受診の仕方や季節の節目における健康に関するワンポイントアドバイスをラジオで放送しました。

また，新聞折り込みにおいても，健康維持に関する啓発記事を，年2回（7月，10月）掲載しました。

ウ 公共機関等での啓発活動

保護者を対象に，夜間休日救急診療所の受診の仕方や症状に応じた対処法のチラシを子育てサロンや「赤ちゃん訪問（市保健師訪問指導）」時に配布しました。

2 健診センター部門

当健診センターは、地域住民の健康維持・増進を図るため、健診事業、健康支援事業、地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信、普及・啓発活動等を実施しております。

令和元年度は、中小事業所の従業員を中心とした事業所健診及び市民を対象とした住民健診や普及・啓発活動等の各種公益目的事業を積極的に推進しました。

健診事業においては、事業所健診に増加がみられ、住民健診、子ども健診は受診者が減少したものの、合計では前年度比 322 件増の 107,611 件の実施となりました。

健康支援事業では、住民健診において、特定保健指導の同日実施に注力し、全体では前年比 542 件増の 4,307 件の実施となりました。

また、健診受診者が伸び悩みの傾向にあることから、センター内に組織を設置し、受診率の向上や経費の削減など、安定的な事業運営継続のための検討を行いました。

(1) 健診事業

健診受診件数

(単位：件)

健康診断種別		令和元年度		平成30年度		増 減	
			構成比 (%)		構成比 (%)		増減率 (%)
ア 事業所健診	定 期 健 康 診 断	20,298	18.9	20,717	19.3	△ 419	△ 2.0
	生活習慣病予防健診	11,221	10.4	11,215	10.5	6	0.1
	人 間 ド ッ ク	1,740	1.6	1,766	1.6	△ 26	△ 1.5
	特 殊 健 康 診 断	3,309	3.1	3,136	2.9	173	5.5
	結 核 検 診	4,245	3.9	4,281	4.0	△ 36	△ 0.8
	そ の 他 の 健 診	3,376	3.2	1,704	1.6	1,672	98.1
	ストレスチェック	5,408	5.0	5,537	5.2	△ 129	△ 2.3
	小 計	49,597	46.1	48,356	45.1	1,241	2.6
イ 住民健診	節 目 健 診	2,749	2.6	0	0.0	2,749	皆増
	節 目 地 区 健 診	0	0.0	1,370	1.3	△ 1,370	皆減
	節 目 女 性 健 診	0	0.0	1,476	1.4	△ 1,476	皆減
	地 区 健 診	7,457	6.9	7,638	7.1	△ 181	△ 2.4
	地 区 巡 回 健 診	8,669	8.1	8,615	8.0	54	0.6
	乳 が ん 検 診	5,807	5.4	6,112	5.7	△ 305	△ 5.0
	子 宮 が ん 検 診	4,852	4.5	4,950	4.6	△ 98	△ 2.0
	特定健康診査単独	154	0.1	220	0.2	△ 66	△ 30.0
	結 核 検 診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	そ の 他 の 健 診	254	0.2	0	0.0	254	皆増
	小 計	29,942	27.8	30,381	28.3	△ 439	△ 1.4
ウ 子ども健診	心 臓 検 診	14,090	13.1	14,129	13.2	△ 39	△ 0.3
	結 核 検 診	4,805	4.5	4,994	4.6	△ 189	△ 3.8
	そ の 他 の 健 診	9,177	8.5	9,429	8.8	△ 252	△ 2.7
	小 計	28,072	26.1	28,552	26.6	△ 480	△ 1.7
	合 計	107,611	100.0	107,289	100.0	322	0.3

ア 事業所健診

引き続き顧客サービスや健康診断受診勧奨等の普及啓発活動を推進しましたが、小規模事業所の受診者減に伴い、定期健康診断やストレスチェック等が減少しました。

その他の健診では、風疹抗体検査の需要が伸び、全体で前年度比 1,241 件増の 49,597 件の実施となりました。

イ 住民健診

宇都宮市から委託を受けて実施している住民健診については、前年度に引き続き早朝健診・出前健診・協会けんぽとのタイアップ健診等を実施しました。

全体では、年度末に発生した新型コロナウイルスの影響などで受診者の足が遠のき、前年度比 439 件減の 29,942 件の実施となりました。

ウ 子ども健診

市内小学校 1 年生、4 年生及び中学校 1 年生の児童・生徒を対象とした主要事業の学校心臓検診は、ほぼ前年度並の 14,090 件の実施となりました。

子ども健診全体では、前年度比 480 件減の 28,072 件の実施となりました。

(2) 健康支援事業

健康支援事業実施件数

(単位：件)

保健指導区分	令和元年度		平成 30 年度		増 減	
		構成比 (%)		構成比 (%)		増減率 (%)
特 定 保 健 指 導	555	12.9	332	8.8	223	67.2
その他の事後支援事業	3,752	87.1	3,433	91.2	319	9.3
合 計	4,307	100.0	3,765	100.0	542	14.4

特定保健指導については、新たに住民健診と同日に実施する初回面接の分割実施を導入し、前年比 223 件増の 555 件を実施しました。

また、その他の事後支援事業については、宇都宮市の乳がん検診における待ち時間を利用し、乳房自己触診の指導勧奨を強化したことにより希望者が増加するなど、前年度を 319 件上回り、健康支援事業全体では、前年比 542 件増の 4,307 件の実施となりました。

(3) 地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信

平成 30 年度の宇都宮市国民健康保険の被保険者に対する特定健康診査の健診結果のうち、メタボリックシンドローム判定、特定保健指導レベル判定、検査項目別判定及び血液検査判定についての分析結果及び労働安全衛生法等に基づく職域の労働者の一般健康診断の結果の分析結果を宇都宮市に提供しました。

(4) 普及・啓発活動

ア メディアを通じた普及啓発活動

- ① 地域住民が健康について考えるきっかけとなるよう、各種疾病や健康に関する予防月間等の際に、その意義や予防について栃木放送と下野新聞を通じて広く市民に周知しました。

実施月	内 容	
	栃木放送	下野新聞
4 月	健康診断受診勧奨	—
5 月	禁煙	禁煙
6 月	胃がん	—
7 月	前立腺がん	—
8 月	子宮がん	—
9 月	がん征圧	がん征圧
10 月	乳がん	乳がん
11 月	糖尿病	糖尿病
12 月	高血圧	—
1 月	肝臓病	—
2 月	生活習慣病予防	生活習慣病予防
3 月	大腸がん	大腸がん

② ラジオ対談の実施

「大腸がんについて考える」をテーマに、健診センター副所長、保健師、C R T 栃木放送アナウンサーによるラジオ対談を放送し（9 月 2 日、5 日）、地域住民の疾病予防や健康に関する意識の醸成及び健診受診率向上を図りました。

イ 各種健診の受診率向上への取り組み

① 事業団建物及び検診車両を利用した市民への周知

下記の運動月間において横断幕やボード等を事業団建物や検診車両に掲示し、広く市民へ周知しました。また、その他の月においては「健診受診勧奨」のボードを検診車両や路線バスに掲示し、健診の受診率アップに努めました。

掲示期間	内 容
4 月	健康診断受診勧奨
5 月	禁煙
6 ～ 8 月	健康診断受診勧奨
9 月	がん征圧
10 月	乳がん
11 月	糖尿病
12 ～ 1 月	高血圧
2 月	生活習慣病
3 月	大腸がん

② 市主催のイベント等への参加

- ・ 日本対がん協会主催のがん患者支援チャリティーイベント「リレーフォーライフ」（9 月 14 日・15 日、会場：壬生町総合公園）に参加し、職員のがん検診の重要性について P R する横断幕を掲げ行進して、健診の受診勧奨を行いました。
- ・ 市が主催する「食育フェア」（10 月 6 日）に参加し、保健師と管理栄養士が「美味しく・楽しく・元気よく」をテーマとして、バランスの良い食事の摂り方やおや

つに含まれる砂糖や油の量、野菜の重要性などを指導するほか、来場者と一緒に野菜のキーホルダー作成体験を行うなど、市民の健康意識の向上を図るとともに健診の受診率アップに努めました。

- ・ 市が主催する「人づくりフォーラム」（11月24日）に参加し、子どもたちを対象とした健診スタッフの職業体験を実施するとともに、健康診断受診勧奨のチラシを配布して健診受診率向上を図りました。

ウ 健康教育及び健康教室

- ① 保健師や管理栄養士が宇都宮市内の事業所や公民館等に出向いて、要望に応じたテーマで講義や指導を行い、市民の健康意識向上に努めました。

実施日	出 向 先	参加人数
6月 6日	オートテックジャパン	54
8月 18日		18
12月 4日		16
7月 13日	小平興業	23
7月 24日	下町御城会	16
9月 10日	雀宮西田自治会ふれあいサロン西田	31
9月 18日	雀宮西原北長生会	7
10月 1日	清原4丁目シニアクラブ	19
10月 11日	宝井団地老人クラブ	32
10月 30日	商業労働災害防止協議会	44
1月 28日	月の会サロン	11
	合 計	271

- ② 保健師と自転車のプロ競技団体がタイアップし、清原工業団地管理センターにおいて事業所の健診担当者等を対象に「プロアスリートに学ぶ従業員のための健康づくり講演会」を行い、労働者の健康意識の向上に努めました（11月26日、21事業所の51名が参加）
- ③ 市内小中学校児童・生徒を対象に実施した令和元年度心臓検診の結果データを基に統計資料を作成し、令和元年11月に市内小中学校養護教員宛報告をしました。

エ 健康冊子の配布及びホームページでの掲載

保健師が健康に関するテーマでリーフレットを作成し、市内の事業所等に配布するとともに、事業団ホームページに掲載して広く市民に健康情報を提供しました。

※ ヘルスアップレター

テーマ：①「健診結果が要精密検査だった時どうしていますか」②「メタボリックシンドロームとたばこについて」③「骨粗鬆症の予防，早期発見のために」

※ 元気アップ通信

テーマ：①「メタボリックシンドロームとたばこについて」②「たばことCOPD（慢性閉塞性肺疾患）について」③「骨粗鬆症の予防，早期発見のために」④「アレルギーを知ろう！」

(5) 精度管理の向上

ア 健診スタッフの技術の向上

全国労働衛生団体連合会や人間ドック学会等が主催する各種の学会、研修会に保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師等を参加させ、資質技術の向上に努めました。

イ 内部精度管理の充実

日常的に使用する各種検査機器が確実に稼動し、正確なデータを確保できるよう日々の始業点検や保守点検を徹底するとともに、再現性の検証等を定期的の実施しました。

ウ 外部精度管理への参加

全国労働衛生団体連合会が主催するX線検査、血液検体検査、労働衛生検査及び日本乳がん検診精度管理中央機構が主催するマンモグラフィ検査の外部精度管理事業に参加し、各種検査の精度向上に努めました。

(6) 安全管理の徹底

ア eGFR計算値と腎臓機能判定の誤りに端を発した当健診センターの安全管理の改善策として、健診センター所長を委員長に据えた「健診事故防止対策委員会」を設置し、組織体制を強化しました。

イ リスクマネジメントの推進

健診業務におけるヒヤリハット事例の原因分析、防止対策等を組織的に検討し、その結果を職員及びスタッフへ周知し、事故防止への意識高揚を図り、安心・安全な健診の実施に努めました。

ウ 個人情報保護対策の強化

重要な個人情報を取り扱う健診機関として、健診受診票等帳票類や検査データ等の個人情報文書類を安全かつ適切に管理するため、情報処理室への入退室管理の徹底を図るなど、個人情報のより一層の適正管理に努めました。

(7) 経営の安定化

健診受診者の伸び悩みや、人件費、委託費をはじめとした健診実施コスト上昇などの課題が顕在化し、健診センターの経営を圧迫していることから、センター内に対策組織を設置し、受診率の向上や経費の削減など、安定的な事業運営継続のための検討を行いました。

検討した内容については、令和2年度事業計画及び予算書に反映しました。

3 准看護高等専修学校部門

准看護師として地域の保健医療に貢献し得る有能な人材を育成するため、教育環境の充実や教員の資質向上を図るとともに、生徒の技術力の強化や臨地実習の指導の充実のため、効率的な教員配置に努めました。また、意欲ある生徒確保を目的とした広報活動を積極的に実施しましたが、オリンピック・パラリンピックを間近に控えていることや少子高齢化が急激に進んでいることによる労働力不足で売り手市場が続く中、全国的な准看護学校の応募者・入学者減の傾向と同様、本校でも平成29年度生から連続して定員割れが続いており、応募者が前年度比20名減の25名にとどまり、令和2年度入学生は18名となりました。

(1) 教育実施状況

学 年	人 数 31年4月 (人)	教育科目（座学講義）					臨地実習		教育実施 時間合計 (時間)
		基 礎 科 目	専門基礎 科 目	専 門 科 目	合 計	講師数	実 習 時 間	実 習 施 設	
		国 語 外 国 語 音 楽 そ の 他 (時間)	人体の仕組み と働き 食生活と栄養 薬物と看護 そ の 他 (時間)	基礎看護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護 (時間)					
1 年 生	32	105	305	415	825	50	238	13	1, 063
2 年 生	25	0	80	250	330		497		827
合 計	57	105	385	665	1, 155	50	735	13	1, 890

※ 1年生については、新型コロナウイルス感染症の影響により、座学講義が35時間、臨地実習が最大28時間未履修のため、進級後に履修予定

(2) 生徒確保対策の強化

ア 学校訪問、県内のハローワーク（15 か所）、市・町のひとり親家庭に対する自立支援担当課及び福祉関係・生活保護担当課（25 か所）の訪問のほか、県内の児童養護施設や母子生活支援施設所管の社会福祉法人も新たに訪問し、情報提供を行うとともに、宇都宮市内の保育園や子育てサロンにポスター掲示を依頼しました。

イ 学校見学会を年3回（8月平日、9月休日、11月休日）実施しました。

ウ 生徒募集について、県内の高等学校、宇都宮市内の中学校、宇都宮市医師会及び宇都宮市内の福祉施設に募集要項を配付したほか、従来からのインターネットによる募集や宇都宮市広報紙及びタウン情報紙への掲載を行うなど、情報発信を図りました。

エ 貸与・給付や返還免除など、一定の要件を満たせば、入学金や授業料等に係る生徒の経済的負担を軽減できる国や県の奨学金や各種修学資金制度について、訪問先、学校見学会参加者、来校者に向けPRを行いました。

(3) 教育環境の充実

ア 生徒指導、相談体制の強化を図るため、栃木県カウンセラー協会の認定カウンセラーによるカウンセリングを月2回委託し、生徒が健全な環境の中で勉学に励めるよう努めました。

イ 学習能力や家庭環境に問題を持つ生徒の個別相談、保護者との面談を行うとともに、個々の特性に合わせた指導を実施しました。

(4) 教育内容の充実

ア 専任教員の資質の向上及び教育力の強化のため栃木県看護系教員協議会主催の下記の研修に参加しました。

- ・ 4月研修会（2名）、夏期研修会（2名）、12月研修会（1名）
- ・ 領域別研究会「管理領域」（1名）、「老年看護学」（1名）
- ・ 領域別研究発表会（1名）

イ 講師及び実習指導者との緊密な連携の推進を図るため、教員の実習引率や基礎実習各施設巡回及び反省会への出席とともに、8月に実習指導者会議を開催し、指導者と実習内容について協議を行いました（参加人数22名）。

なお、3月の実習指導者会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

(5) 実践活動の充実

ア 2年生を対象に、東京都東村山市の国立ハンセン病資料館を見学し、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別の歴史を学ぶことにより、准看護師としての見聞を広め、感性を豊かにすることを目的とした研修を実施しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

ア 准看護師募集機関と生徒の希望・特性とのマッチング等を図るための相談及び指導を行うとともに、栃木県看護協会が実施する看護学生への就労指導啓発事業を利用し、同協会理事による特別講義を実施しました。

イ 就業支援を行い、看護師学校進学者7名を除く16名全員が県内の医療機関に就職しました。

(7) 生徒の状況

ア 1年生の状況

	人 数	備 考
生徒数	32	入学者 31 名（受験者数 44 名） 復学者 1 名
進路変更等	6	退学者 3 名 休学者 3 名
進級者	26	

イ 2年生の状況

	人 数	備 考
卒業生	23	
うち准看護師試験合格者	23	合格率 100%
(卒業生の進路)		
看護師学校進学者	7	進学率 30.4%
看護師学校進学兼就職者	0	
医療機関就職者	16	就職率 69.6%
就職活動中	0	
その他	2	休学者 1 名, 退学者 1 名
合 計	25	

ウ 令和2年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語, 一般教養, 作文, 面接

	試 験 日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
推 薦 入 試	令和元年10月29日 (一般教養・作文・面接)	4	4(3)	
一般入試(第1回)	令和元年12月10日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	14	13(11)	
一般入試(第2回)	令和2年 1月28日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	5	3(2)	
一般入試(第3回)	令和2年3月10日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	2	2(2)	
合 計		25	22(18)	1.14

※ 令和2年度入学生 18名

4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を修得させ、口腔衛生の向上に資する有能な人材を養成するため、講師及び臨床実習指導教員との連携強化を図り指導の強化に努めるとともに、教育器材及び学校図書の整備を行うなど、教育環境の充実を図りました。

また、3年制教育移行後の授業計画に基づく講義を継続するとともに、大学病院・介護施設において実習を実施しました。3年生については、地域医療機関への就業支援を行い、歯科衛生士としての進路が決定できるよう支援しました。

学生の確保については、市内の歯科医院に加え県内の歯科医院に学生募集案内のポスター掲示を依頼したほか、新聞広告にオープンキャンパスの特集の掲載や、JR宇都宮駅及び東武宇都宮駅構内に学生募集ポスターを掲示するなど広報活動の強化に努めました。

(1) 教育実施状況

学 年	人 数 31年4月 (人)	教育科目（座学講義）					
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択・必修分野	合 計	講師数
		英語 生物 心理学 その他 (時間)	解剖学 組織発生学 生理学 生化学 歯牙解剖学 病理学 薬理学 その他 (時間)	歯科衛生士概論 歯科臨床概論 保存修復歯内療法 歯科補綴学 歯周保存療法 口腔外科学 その他 (時間)	情報処理 社会人マナー 耳鼻科 内科 小児科 (時間)		
1年生	51	105	204	471	30	810	35
2年生	48	30	30	105	45	210	11
3年生	46	45	75	284	90	494	15
合 計	145	180	309	860	165	1,514	61

臨地実習		施設臨床実習 介護施設実習		教 育 実 施 時 間 合 計 (時間)
実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	
—	—	—	—	810
765	32	—	—	975
270		36	5	800
1,035	32	36	5	2,585

(2) 学生確保対策の強化

- ア 入学案内のため、推薦指定校（34 校）を訪問しました。
- イ オープンキャンパスを年 4 回（7 月平日，8 月休日・平日，9 月休日）実施しました。
- ウ 栄美通信主催進学相談会のほか、栃木県内の学校等で開催される進学相談会に参加しました。
- エ 広報活動の充実を図るため、下記の取り組みを実施しました。
- ・ 県内の歯科医院等へ学生募集ポスターを送付
 - ・ 宇都宮市内の全中学校に学生募集ポスターを送付
 - ・ 宇都宮市広報紙掲載（10 月，11 月）
 - ・ インターネットによる学生募集の広報
 - ・ 学生募集案内を新聞広告へ掲載
 - ・ JR 宇都宮駅，東武宇都宮駅構内に学生募集ポスターを掲示

(3) 教育環境の充実

- ア 学内管理システムソフトの購入，高圧蒸気滅菌器の更新，校内実習用口腔ケアモデルの購入など教育環境の充実を図りました。

(4) 教育内容の充実

- ア 講師及び指導教員との円滑な連携の推進を図るため開催を予定していた講師指導教員打合会が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが，指導教員等に実習内容等についての資料を配布し，情報の共有化を図りました。
- イ 国家試験合格率の向上を図るため，国家試験特別講義や補講を実施しました。また，平成 30 年度から改正したカリキュラムを実施し，学生の学力等の向上を図りました。
- ウ 新入学生を対象として「入学前教育プログラム」を実施し，学習習慣の維持や国家資格取得に必要な基礎学力の育成を図りました。

(5) 実践活動の充実

- ア 通常の講義に加え，「病院実習における心構え」，「シャープニング」，「音波ブラシの使い方」，「病院歯科における歯科衛生士の役割」等の特別講義を実施しました。
- イ フッ化物塗布事業や歯の健康教室へ参加しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

- ア 歯科衛生士の資格を習得させ，地域の医療機関等へ積極的に就業させることにより地域医療従事者の提供体制の充実に努めました。
- イ 11 月より就業支援を行い，就職希望者 44 名のうち 42 名が就職しました。

(7) 学生の状況

- ア 1 年生（第 42 期生）の状況

	人数	備 考
学生数	51	入学者 50 名（受験者数 69 名）復学者 1 名
進路変更等	0	
進級者	51	

イ 2年生（第41期生）の状況

	人数	備 考
学生数	48	
進路変更等	2	退学者 2名
進級者	46	

ウ 3年生（第40期生）の状況

	人数	備 考
卒業生	45	
うち歯科衛生士国家試験合格者	44	合格率 97.8%
卒業生の進路		
医療機関就職者（歯科衛生士）	41	就職希望者 44名（就職率 95.5%）
医療機関就職者（歯科助手）	1	
就職活動中	2	
その他	1	
合 計	45	

エ 令和2年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語総合、適性検査、面接

試験区分	試 験 日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
A O 入 学	令和元年 9月29日	26	24 (24)	
推 薦・特 別 入 学	令和元年10月17日	13	13 (13)	
一般入学(第1回)	令和2年 1月16日	3	3 (3)	
一般入学(第2回)	令和2年 2月 9日	2	2 (1)	
一般入学(第3回)	令和2年 3月15日	2	2 (2)	
合 計		46	44 (43)	1.05

※ 入学定員 50名

※ 令和2年度入学生 43名

※ AO入学（アドミッションズ・オフィスの略）

論文や面接から志願者の意欲や個性などを測り、学校が求める学生像に合った入学生を選抜する。

5 その他の事項

(1) 理事会に関する事項

会議名	開催（議決） 年月日	件 名
第1回 理事会定例会	令和元年 5月30日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 平成30年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮歯科衛生士専門学校臨床実習施設の変更について 議案第4号 令和元年度第1回評議員会定時会の招集について
第2回 理事会臨時会 (決議の省略)	令和元年 7月18日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第2号 令和元年度第2回評議員会臨時会の招集について
第3回 理事会臨時会	令和元年 7月18日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団健診センター所長の昇任について 議案第2号 宇都宮市夜間休日救急診療所副所長の承認について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団就業規則の一部改正
第4回 理事会定例会	令和元年 12月20日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団給与及び旅費規程の一部改正
第3回 理事会定例会 (決議の省略)	令和2年 3月24日	議案第1号 令和元年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算(第2号) 議案第2号 令和2年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業計画及び収支予算 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団職員の永年勤続表彰について

(2) 評議員会に関する事項

会議名	開催（議決） 年月日	件 名
第1回 評議員会定時会	令和元年 6月17日	議案第1号 平成30年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団監事の選任について
第2回 評議員会定時会	令和元年 7月18日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について

(3) 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
令和元年 6月17日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	令和元年 7月2日
令和元年 7月18日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	令和元年 9月20日

(4) 栃木県知事に対する届出等に関する事項

届 出 年 月 日	事 項
令和元年 6月26日	事業報告等の提出
令和元年 7月23日	変更の届出（役員等の変更）
令和元年 10月8日	変更の届出（役員等の変更）
令和2年 3月30日	事業計画書等の提出

(5) 役員等に関する事項（令和元年3月31日現在）

役職名	人 数	氏 名	備 考
理 事 長	1	片山 辰郎	
副理事長	1	北條 茂男	
常務理事	1	手塚 敏男	
理 事	7	増山 哲茂	令和元年7月18日就任
		福田 哲夫	令和元年7月18日就任
		長谷川英一	
		石崎 一郎	
		小久保 雅司	令和元年6月17日就任
		齋藤 高藏	
		神林 博明	
監 事	2	佐藤 行正	
		横山 恭久	令和元年6月17日就任
評 議 員	11	齋藤 公司	令和元年7月18日就任
		小林 健二	
		高橋 映夫	
		廣瀬 誠	
		手塚 英和	
		緒方 秀徳	令和元年7月18日就任
		阪口 勉	
		荒木 宏	
		宮崎 務	
		高橋 郁夫	
		坂本 裕一	
合 計	23		

(6) 職員に関する事項（令和元年3月31日現在）

職 名 部門	事務局長	次 長	課 長 学科長 主 幹	課長補佐 GL 副主幹 副 主 幹	係長 GL 主査 教務主任 主査	主 任	主任書記 主任技師	書 記 技 師	専任教員	嘱託員	合 計
事務局	(1)				1					1	1
総務課			1		1		2	1			5
救急診療所			1			1	1			1	5
健診センター											0
事業推進課			1 (2)	2	2	2	3	2		(3)	16
健診課			1	2	7	1	5	5		2	23
准看護学校			1 (1)		1				3	1	6
歯科衛生士学校			1 (1)	1					3	1	6
合 計	0	0	6	5	13	4	11	8	6	9	62

※ 事務局長，准看護学校学科長及び歯科衛生士学校学科長は嘱託員である。

※ 事業推進課主幹2名は嘱託員である。